

令和2年5月31日

## 地域密着型サービス 運営推進会議 報告書

施設名：グループホーム・ひなたぼっこえびすヶ丘

施設種類：認知症対応型共同生活介護

5月の運営推進会議は、コロナウイルス感染拡大防止の為に、事前にホームの状況等を書面で送り、後日皆さんから意見を聞き運営推進会議開催に変えることにした。

### 【入居者状況】

入居者9名（女性 8名 男性 1名）

平均年齢 89歳 平均介護度 2.2（1～4）

・入退去なし

### 【活動状況】

- ・ 買い物・散歩・日光浴・ドライブ・訪問カット
- ・ 計算ドリル・新聞折り・刺し子・マスク作り・生け花教室
- ・ ラジオ体操・個別体操・歩行訓練・おやつ作り・たこ焼き作り
- ・ 季節行事～近所の方や家族の方より筍をたくさん頂き、筍料理を堪能した

### 【教育】

- ・ コロナウイルス感染拡大防止・ホームでの対応について  
メディアの情報や厚生労働省からの通達事項の確認・本社からの対策の徹底等、日々変化していく状況や情報の中から、ホームで行うべき必要な対応を頻回に追加しながら、職員に伝え指導していった
  - \* 職員が持ち込まないよう職員の対応の徹底  
（マスク・手洗い・体調管理と体温測定・行動の自粛）
  - \* 家族の方の面会制限や外来者の方の対応
  - \* 発熱者の対応（受診の手順・居室対応の手順・ガウン・マスク・手袋着脱の仕方・消毒の仕方等）

【事故・ヒヤリハット・苦情】

- ・事故 2件（負傷・薬の飲み忘れ）
- ・ヒヤリハット 2件（負傷の危険・薬飲み忘れそうになる）

\*身体拘束適正委員会開催

・ホーム内の鍵使用について、離設防止の為に一時的に鍵をかける事は入居者の方にとって閉塞感に繋がる為、一時的でも安易に行う事は適切ではないことを確認した

【意見】

- 身体拘束適正委員会で鍵がテーマになっているが、テーマにする要因があったのか？



帰りたいたい思いがある方が、一階他者の居室より庭に出て帰ろうとされた事があり、対策に居室の鍵を使用するという発想になったが、安易に鍵をかけるのではなく、まずは出来る対応（職員が関わったり見守ったり、一緒に散歩したり等）をして、それでも危険な状況の時の最終的な対応とする。安易に鍵を使用する発想とならないよう今回テーマにし話し合った。

他は特に意見なし